



↑オデイルが実際に使っているフォトブース。1シート5ユーロ。



↑記念すべき最初の写真。まだ20世紀です。



↑友達や家族も頻りに登場。with母と妹。



↑ダーリンのラファエルと愛娘ゾーイちゃん。

3 6年間、証明写真を毎週撮り続けるといういろいろありますよ。

アルバイトの面接やバスポート申請のときに利用する証明写真機。アレを使って6年半、ただただ自分のポートレート撮り続けた、ベルギー人アーティストのオデイル・マッシュール。1999年の3月23日から、およそ1週間に1回のペースで

340カットもの写真を撮影。HPにアップされた作品には撮影した時間や場所、その日の出来事などが日記調で書かれていてオデイルの日常も垣間見ることが出来ます。自分自身を題材に人間の日々の成長や変化を記録し続けたアーティストなだけに、それ以上に魅力的なのかなんとも思ってもオデイルの人間性。優柔不断で控えめな性格がなくて気分屋のオデイルは2回に1回は愚痴を吐き、二日酔いのむくんだ顔で現れます。そんなオデイルも今年ついに母に。ダメダメオデイルだつて、これだけのことが出来るんだから、みんな何か始めてみませんか！とゆるめの活を入れられる作品なのです。●三澤和也

2001, Jul., 30th.



2001, May. 6th.



2001, Sep., 15th.



↑夏の日のセクシーショット。←「モンローみたい」とはしゃぐ金髪オデイル。

↑詳しくはhttp://www.marciou.netを参照。

4 独のこのプレミアムコーラを1本飲んだら夜は眠れません。

←ロコとネーミングだけは変わっていない。現在は「アフリコーラ」。こちらもドイツのクラブ・ドリンク代表選手なのだ。



60年代、カルトの人気を誇ったドイツの「アフリコーラ」。アメリカものを毛嫌いし、国産品を奨励する傾向があるドイツ人にとって、当時このコーラはしつくりくる選択だった。非常ににスパイシーなその味。そのものだ、ドイツ人が大好きなあの黒いハーフ、リコリス(甘草)の味そのもの。おまけに、330ml瓶一本のカフェインが、エスプレッソ・ダブルよりも多いという、250mg/ℓものカフェイン含有量。これらの要素が人にとって、当時このコーラはしつくりくる選択だった。非常ににスパイシーなその味。そのものだ、ドイツ人が大好きなあの黒いハーフ、リコリス(甘草)の味そのもの。おまけに、330ml瓶一本のカフェインが、エスプレッソ・ダブルよりも多いという、250mg/ℓものカフェイン含有量。これらの要素が

話題をさらい、人気はうなぎ上り。ドイツ自慢のコーラとしてその名をはせるかに見えた。がグロバリズムの波にあおられ売り上げ低迷。経営者変更や「品質改良」を余儀なくされ、カフェイン率や独特な味ツケは現在完全に葬り去られてしまった。そこへ、01年に登場したのが「プレミアムコーラ」。アフリフ

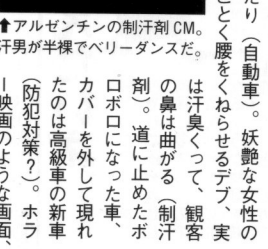


↑「60年代アフリ」を完璧に模した「プレミアムコーラ」。アフリファンたちにより徹夜向き高カフェインが復活。媚びないデザインもいい。

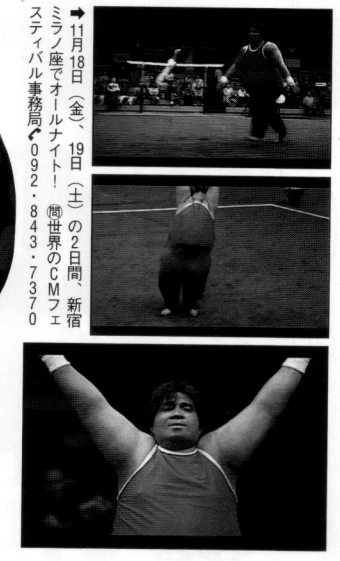
5 ジョン・ベルーシのようにバク転するデブを見てほしい。

人は自由を求めているようだが、本当の自由などないことを知っている。本当の自由などないこととやられても何もできないことも。人は愚痴をぶつくと息を吐きつつも、不自由な枠組みがあると、きこせ「自由」を表現すべく、力を発揮する。CMという「創造」は、まさに自由演技の場だ。企業があり、マス相手だから、

ヘアヌード解禁なんてないし、ビーチクだろうが、チンポだろうが見せるわけにはいかない。芸術だと言いつつ、爆発するわけにもいかない。ないない尽くしのなか、人は作品を作る。デブが疾風のよう



↑アルゼンチンの制汗剤CM。汗男が半裸でベリーダンス。たり(自動車)。妖艶な女性のごとく腰をくねらせるデブ、実は汗臭くって、観客の鼻は曲がる(制汗剤)。道に止めたポロポロになった車、カパーを外して現れたのは高級車の新車(防犯対策?)。ホラー映画のような画面、



↑「スヌービーがうれしいときか悲しいときには、全身は水玉に包まれてしまう」と草間さんは語る。

6 白黒の犬は水玉の女王の夢を見るに違いないのだ。

みんなが大好きなスヌービー。チャールズ・M・シュルツ氏によって描かれた新聞連載「ピーナッツ」が始まったのが50年。白と黒のフアンフィーイスは55年間も人々に愛されてきたのだ。その55年を記念し、11月19日か

され、草間彌生さんを中心にアーティストたちが参加。見慣れたスヌービーがアーティストの魔法により変身する。頭の中で記憶が化学反応を起こすようなこの感覚、結構気持ちいいかも。参加作家の倉科昌高さんはこの挑戦を一替え歌遊びのようなものだと語る。ファッション

さんは圧倒的な存在感を誇る。子供用商品として君臨し続けてきた存在自体を、草間ワールドに引きずり込むことは、永遠のシンボルと水玉の女王の対決でもある。草間さんの



↑網模様でネット社会を表現? 草間作品。←「木目スヌービー」倉科作品。



↑「カロー・ドング」

↑スヌービー

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」

↑「スヌービー」